

日本女子体育大学

紀 要

第 32 卷

平成 14 年 3 月

日本女子体育大学

「日本女子体育大学紀要」投稿規程

1. 投稿の資格

(1) 筆頭著者は、日本女子体育大学の教員（非常勤を含む）及びそれに準ずる職員、大学院生、大学院研究生とする。ただし、共著者はその限りではない。

(2) 筆頭著者として投稿できる論文数は一人一編とする。

2. 論文の種類は、総説、原著論文、実践報告、研究報告、研究資料とする。

3. 投稿論文の掲載

(1) 投稿原稿の採否は、紀要編集委員会において決定する。

(2) 紀要編集委員会は、当該論文に適した複数の査読者を指定して論文審査を依頼し、審査担当者の評定に基づき論文掲載の可否を決定する。原則として査読者は学内者とするが、必要な場合には学外者にも依頼することがある。

(3) 掲載論文1編につき別刷50部を呈する。それ以上の部数については、著者の実費負担とする。

4. 論文は和文又は欧文とする。和文原稿には欧文抄録（英・独・仏いずれか1カ国語、専門家のチェックを受けたもの）をつける。欧文原稿には欧文及び和文抄録をつける。

抄録の原稿はワードプロセッサ又はタイプライターにより明瞭に作成する。その長さは刷り上がり1頁(70字×25行)以内とする。

5. 原稿は完成したものに限り、文章は簡潔に、図・表等は最小限にとどめる。原稿は横書き（20字×20行）を原則とし、50枚以内とする。ワードプロセッサを使用する場合はA4、横書き（24字×44行）を原則とし、18枚以内とする（抄録・図・表を含む）。欧文はすべてA4用紙にダブルスペースでタイプする。ワードプロセッサの場合は原則として機種名・ソフト名を記入したフロッピーディスクを添える。挿入の図や表はそのまま製版できるように作成する。

6. 校正は著者が二校まで行うことを原則とする。

7. 注及び註は文中の該当箇所右肩に、⁽¹⁾⁽²⁾……と表記し、稿末にまとめて記載する。

8. 文献の記載順序は、原則として和文・欧文を含めて著者名のアルファベット順とし、注の後にまとめて記載する。記載方法は、単行本の場合は著者名・発行年・書名・発行所・頁（始頁－終頁）、雑誌の場合は著者名・発行年・題目・雑誌名・巻・頁（始頁－終頁）とする。

9. 「二階堂奨励研究・二階堂学園在外派遣」等の補助を受けて行った研究論文等を投稿する場合には、文末にそのこと及びその年度を明示する。

10. 倫理委員会の審査を必要とする内容の論文は、必ず倫理委員会の承認を得、承認番号を記載する。

附 則

1 この規程は、平成12年7月12日から施行する。

2 「日本女子体育大学紀要」規程（昭和41年7月1日制定）は、廃止する。

日本女子体育大学

紀 要

第 32 卷

平成 14 年 3 月

日本女子体育大学

目 次

<人間学系>

1. 児童期から青年期に至る物語り能力の発達：横断的考察 ……………田島 啓子…………… 1
2. 自閉症児のこだわり行動の理解と対応の仕方の検討
— 交流的スポーツ活動における Y 君の行動から — ……………深代 恵子・石川 尚子…………… 9
3. Loevinger の自我発達理論についての日本における研究動向 ……………大野 和男…………… 19
4. スキーの回転技能と基本的な動きの自己コントロール能力との関連について
……………岩田 真一・石川 尚子…………… 31
5. レッジョ・エミリアの幼児教育と保育環境
— Winter Institute 1998 と「子どもたちの100の言葉展」の実践記録から — ……常田奈津子…………… 41
6. 女子学生のスキー実習期間中における自覚疲労について ……………相場百合香…………… 51
7. 保育者志望学生の性格特性— 四年制保育者養成に関する研究 —
……………西田ますみ・日高 精二・常田奈津子・二階堂邦子…………… 57

<芸術学系>

8. University of the Arts における舞踊教育の特徴—クラシックバレエの位置付けから見た報告—
……………小山佳子…………… 63
9. 舞踊教室における幼児指導の現状—音楽の使用に関する一考察—
……………今村 文・稲毛 博美…………… 73
10. 新体操の個人競技における構成上の一考察—開始と終末のポーズを中心に—
……………上原 真奈…………… 79

<自然学系>

11. 一過性の自転車エルゴメーター運動は赤血球合成を促進する
……………川野 因・渡嘉敷晶子・西村佐喜子・梶本 雅俊…………… 87
12. 中高年に達した本学卒業生の現在のライフスタイルと健康状態
……………中村 泉・菊地 潤・島 喜八・鳥居 俊…………… 95
13. 過去・現在の食に関する体験が未来の生活像に及ぼす影響 ……小林 敬子・川野 因……………105

<運動学系>

14. バレーボール競技におけるラリー継続時間に関する一考察
……………内田 和寿・塚本 正仁・亀ヶ谷純一・高橋 和之……………109

<人文社会学系>

15. テニスレッスンにおけるベネフィット・セグメンテーションに関する研究
.....小野里真弓・畑 攻・水上 雅子.....115
16. 大学における運動部員の「職務満足」の構造と機能杉山歌奈子・畑 攻.....125
17. スポーツビジネスサービスにおけるプロダクトマネジメントに関する基礎的研究
.....水上 雅子・畑 攻・小野里真弓.....133

CONTENTS

Development of story-making ability from childhood to adolescence :	
A cross-sectional approach	Keiko TAJIMA..... 1
Some considerations and responses to persistent behavior of an autistic child	
– From a six-year-old boy’s behavior in interactive sport activity –	Keiko FUKASHIRO and Takako ISHIKAWA..... 9
The trend of studies concerning Loevinger’s Ego Development theory in Japan	
	Kazuo OHNO..... 19
On relation between turning skills of skiing and the ability of self-control in basic movements of DOSA METHOD	
	Shinichi IWATA and Takako ISHIKAWA..... 31
Reggio Emilia’s early childhood education and an environment of nursery school	
– From Winter Institute 1998 and the practice records from the exhibition of “The Hundred Languages of Children” –	Natsuko TOKIDA..... 41
On girl students’ subjective fatigue during practical training of skiing	
	Yurika AIBA..... 51
Characteristics of personality of the students wishing to be an infant school teacher	
– A research on 4-year training of infant school teacher –	Masumi NISHIDA, Seiji HIDAKA, Natsuko TOKIDA and Kuniko NIKAIDOU..... 57
The characteristic of the curriculum of the dance department in University of the Arts	
– A report about the significance of classic ballet in education of dance –	Kayoko KOYAMA..... 63
A study of how to use music in a dance class for children	
	Fumi IMAMURA and Hiromi INAGE..... 73
A study of the composition on individual competitions in rhythmic gymnastics	
– through start and final poses –	Mana UEHARA..... 79
A single bout of exercise on a cycle ergometer enhances the biosynthesis of red blood cells.	
	Yukari KAWANO, Akiko TOKASHIKI, Sakiko NISHIMURA and Masatoshi KAJIMOTO..... 87
The present lifestyle and health condition of elder and middle-aged graduates of Japan Women’s College of Physical Education	
	Izumi NAKAMURA, Megumi KIKUCHI, Kihachi SHIMA and Suguru TORII..... 95
The eating habits of female students and their attitudes toward, and vision of, future dietary habits	
	Keiko KOBAYASHI and Yukari KAWANO.....105

Clarifying about the rally continuation time in a volleyball gameKazutoshi UCHIDA, Masahito TSUKAMOTO, Junichi KAMEGAYA and Kazuyuki TAKAHASHI.....	109
A study on the benefit segmentation strategy for the tennis lesson businessMayumi ONOZATO, Osamu HATA and Masako MIZUKAMI.....	115
A study on the job satisfaction for college club membersKanako SUGIYAMA and Osamu HATA.....	125
A study on management in sports serviceMasako MIZUKAMI, Osamu HATA and Mayumi ONOZATO.....	133

紀要編集委員会

加賀谷淳子(委員長)	赤間 高雄	片岡 律子	川野 因
小林 敬子	大門 芳行	早弓 惇	平井由美子
水野 恵子	若松 美黄		

編集協力者

石川 尚子	石崎 朔子	石塚 浩	宇野 正道
片岡 洵子	加茂 美冬	河田 喬夫	北川 幸夫
久保 健助	小松 直行	笹倉 清則	笹本 重子
島 喜八	島内 敏子	高橋 進	田島 啓子
寺山 喜久	得丸 智子	二階堂邦子	西岡 光世
日高 精二	日比 吉子	牧 琢弥	渡部 誠

日本女子体育大学 紀 要 第 32 卷

[非売品]

平成 14 年 3 月 31 日 発 行

編 集 兼 東京都市田谷区北烏山 8-19-1
発 行 者 日 本 女 子 体 育 大 学
学 長 金 子 明 友
製 作 東京都市田谷区三田 5-14-9
昭 和 情 報 プ ロ セ ス 株 式 会 社